

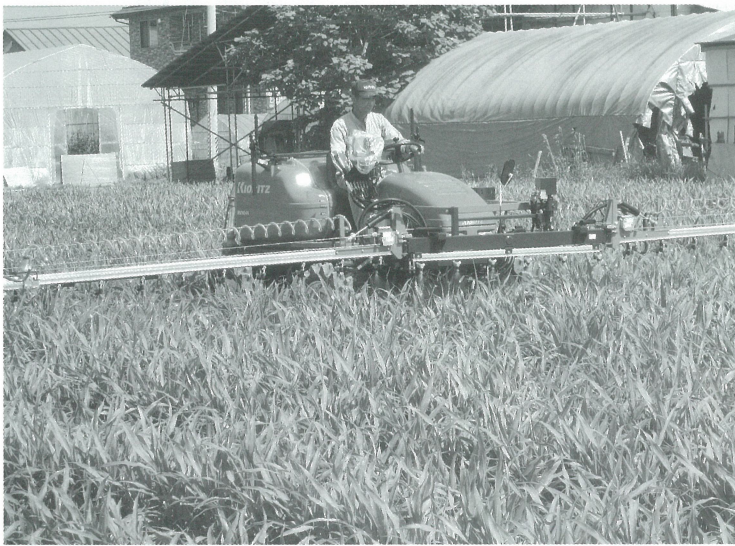
涌谷町

農業委員会だより

試み重ねるハトムギ栽培

岸ヶ森生産組合

組合長 松井 一之 さん



防除作業を実施する松井さん

経営内容	組合員	4名
	水田面積	25ha(秋作業)
	大豆	30ha

岸ヶ森生産組合は昭和60年に設立し、主に水稲・大豆を経営している。兼業化の進むなかで、農地の有効活用と雇用の場を提供し地域に密着した農業を展開してきた。また、「大豆300A技術」なども取り入れ、先進的な農業を実践している。7月15日に開催された建町記念式典では、農業振興の功績により安部卓爾賞を受賞した。組合では昨年より、涌谷町生薬まちづくりの会の依頼を受け、生薬であるハトムギ約20aを栽培し

ている。汎用コンバインなど既存の機械を利用してはいるが、「昨年は大豆の作業との調整がうまくいかず、播種の時期がずれてしまい期待した収量が確保できなかった」と栽培担当者は語る。

その経験から今年は播種の日程を早めることで他の作物の作業と競合しない、計画的な栽培を試みた。経過は順調であり、大幅な収量の増加が期待できるとのことである。

収穫したハトムギは岩手県の業者に焙煎・加工を委託し、行事などの際に試供される予定である。機会があればぜひ味わっていただきたい。



7月2日(左)と7月23日(右)のハトムギの生育状況
3週間で約3倍の背丈に

主な内容

- 岸ヶ森生産組合……………1
- 会長あいさつ／
農業委員の退任・選任のおしらせ／
全国農業新聞のご案内……………2
- 委員叙勲紹介／活動レポート～第7回わくや発
食の町民まつり／賃借料情報……………3

- 農業委員会の活動計画のおしらせ……………4・5
- 認定農業者・新規就農者ガンバってます！……………6
- 猪短保全会……………7
- 農業者年金のご案内／農地中間管理機構のご案内／
全国農地ナビがスタートしました！／
編集後記……………8

TPPと地域力

―会長あいさつに代えて―



涌谷町農業委員会
会長
畑岡 茂

く農業は機械化・化学化を前提とした大型システムによる大幅なコストの削減を求められています。

グローバル化が進む一方で、ロー

TPP交渉が終盤の局面にあると言われています。農産物価格の急激な低下による農家経済悪化が懸念されるTPPに農業委員会も反対してきました。

戦後の復興が、世界を相手にした人と物の交流のなかでなされてきたことは否定できません。経済が成長するに連れて農業も発展してきた一方で、年々変化を迫られている部分もあります。TPPはそうした変化のなかでも最大級のものではないかと思われま

カル化の動きが語られるようになってきました。ひと言でいえば「地域で考えること」です。地域にいる消費者の目線から生産を考える、「地産地消」から「地消地産」へ。地元で消費される食べ物をできるだけ地元で生産しようという発想です。

需要と供給の出合うところがマーケットですが、マーケットということばには物だけの印象を受けます。対して、市場には生産する人と消費する人の息づかいが感じられます。私たちの身近にそのような地場産市場

農業委員の退任・選任のおしらせ

平成27年6月1日をもって宮城県下の農業共済組合が合併し、新たに「宮城県農業共済組合」が設立されたことに伴い、農業共済組合より推薦されております農業委員に異動がございますので、お知らせいたします。

大友 利和 様におかれましては、長年ご尽力ありがとうございました。

前任 大友 利和 委員
新任 上野 晴道 委員



上野 晴道
1 区
選任・宮城県農業共済組合
☎43-3607

この度、宮城県農業共済組合より推薦を受け、涌谷町農業委員として活動することとなりました。

近年、農業を取り巻く情勢はTPPの交渉、米価の下落など目まぐるしく変わっていき、農家の立たされている状況は一層厳しさを増しています。

農業委員として意欲のある担い手の育成、農地の有効利用や耕作放棄地の解消などに取り組み、農家経営の安定と地域経済の発展に貢献できるよう尽力したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

があれば、そのような地域力がTPPに備えるもう一つの方策になりうるのではないのでしょうか。



全国農業新聞

“農家のための情報紙”です！

農業政策やさまざまな仕組みについてわかりやすく解説しています。また、東北版・みやぎ版では地域の担い手や独自の取り組みなどを紹介しています。

●毎週金曜日発行 ●購読料：月額700円（税込み）

購読をご希望の方、見本紙をご希望の方は涌谷町農業委員会事務局へお申込みください。

遠藤 要之助 委員

平成27年度春の叙勲
「旭日雙光章」を受賞

4月29日、当会で班長を務められている遠藤 要之助 委員が春の叙勲「旭日雙光章」を受賞されました。

遠藤委員は、昭和55年に地域の支援を受け、涌谷町議会議員に初当選され、その後、平成19年7月まで7期27年の長きにわたり在職されました。その間に涌谷町農業委員及び遠田並びに大崎農業共済組合の役員としてもご活躍されており、また、農業委員としては、公選・選任を合わせ現在に至るまで16年間務められており、町の農業振興に力を尽くされて参りました。これまでのたゆまぬ努力が認められ、叙勲の栄に浴されましたこと誠にありがとうございます。



略歴

- 【農業委員歴】 昭和59年7月20日から 現在に至る 議会選出(学識経験者)・共済選任・公選を含む通算16年
- 【町議会議員歴】 昭和55年1月1日から平成19年7月2日 7期 27年6ヶ月
- 【農業共済組合歴】 昭和63年5月1日から平成24年5月31日 通算24年1ヶ月



活動レポート ~第7回わくや発食の町民まつり~

外が寒いなか、温かい豚汁は好評を博した。来場された方々に地元のお味を再発見していただき、まつりは今回約980名の来場者数を迎える盛り上がりが見込まれる。

2月7日わくや天平の湯及び世代館で開催された「第7回わくや発食の町民まつり」に初めて農業委員会が参加した。生産者と消費者の相互理解を深めることによる地産地消・食育の意識高揚を目的として、会場では20団体が地場産品を使った試食が振る舞われた。当会では町内産の豚肉、野菜、豆腐、こんにゃくや味噌を使った豚汁を提供し、



大鍋2つに作られた約450食の豚汁

涌谷町賃借料情報

平成26年1月から12月までに締結(公告)された賃貸借における賃借料水準(10aあたり)は、以下のとおりとなっております。平成27年8月15日 涌谷町農業委員会

田(水稲の部)	締結(公告)された地区名	平均額	最高額	最低額	データ数
	西地区	11,400円	18,000円	4,000円	181筆
東地区	13,200円	20,000円	8,000円	62筆	
篁岳地区	16,000円	24,000円	6,000円	154筆	
(参考)涌谷町平均	15,700円			397筆	
畑	締結(公告)された地区名	平均額	最高額	最低額	データ数
	涌谷町平均	8,400円	12,000円	5,000円	9筆

*データ数は集計に用いた筆数です。 *金額は算出結果を四捨五入し100円単位としています。

農業委員会の活動計画のおしらせ

平成27年度の農業委員会の活動計画をお知らせいたします。
引き続きのご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

農家相談

日頃から農業経営で悩んでいることや農地に関する問題（贈与、相続、売買、貸借、農地転用）や農業者年金についてなどの相談を受付けておりますので、お気軽にご相談ください。

地域から選ばれた選挙委員とJA・農業共済・土地改良区・町議会からの選任委員がそれぞれの見識を活かして、相談にお応えいたします。

場所：みどりの農業協同組合 涌谷宮農センター
時間：9：00～10：30

生活環境部会

今年度は用水停止後に大排水路調査を実施いたします。大排水路に家庭用生活ゴミや、粗大ゴミなどが捨てられている状況が散見されることから、土地改良区と情報共有を図りながら、実態調査を実施し対策を講じていきます。

生産部会

今年度は町内における生薬栽培を視察いたします。復興まちづくりマスタープランに基づいて進めている「生薬を活用したまちづくり」について、町内の農地で取り組んでいる生薬栽培の状況について視察し、町の農業振興に活かします。



▲両部会合同会議のようす

主な活動計画

(農業委員敬称略)

- | | |
|-------|---|
| 4月 6日 | 農家相談 |
| 4月22日 | 担任委員会 |
| 4月23日 | 定例総会・町長との懇談会 |
| 5月 7日 | 農家相談 |
| 5月22日 | 担任委員会 |
| 5月25日 | 定例総会 |
| 6月 6日 | 農家相談 |
| 6月22日 | 担任委員会 |
| 6月25日 | 定例総会 |
| 7月 6日 | 農家相談 |
| 7月22日 | 担任委員会 |
| 7月27日 | 定例総会 |
| 8月 5日 | 農家相談 |
| 8月15日 | 農業委員会だより発行 |
| 8月24日 | 担任委員会 |
| 8月26日 | 定例総会
農地利用状況調査 |
| 9月 7日 | 農家相談
担当委員：門田 善則（小里区）
佐藤謙次郎（大谷地区）
上野 晴道（1区） |
| 9月16日 | 担任委員会 |
| 9月18日 | 定例総会
生活環境部会
生産部会
農業委員視察研修 |

耕作証明書の交付について

世帯で耕作している農地の面積などを証明するものです。他市町村の農地の売買（貸借）申請、軽油免税の申請、または認定農業者の申請などに必要となります。

- 交付手数料はかかりません。
- 本人・同一世帯の親族以外の方の申請は委任状が必要です。

主な活動計画

(農業委員敬称略)

- 10月 5日 農家相談
担当委員：及川ふじ子 (大谷地区)
 渋谷 ミホ (9の3区)
 高橋 均 (脇区)
- 10月23日 担任委員会
- 10月26日 定例総会
JAみどりの祭in
わくや参加
- 11月 5日 農家相談
担当委員：大友 利明 (小里区)
 遠藤要之助 (下小塚区)
 佐々木みさ子 (上町区)
- 11月13日 認定農業者との意見交換会
- 11月20日 担任委員会
- 11月24日 定例総会
農地利用状況調査
検討会
- 12月 7日 農家相談
担当委員：黒澤 長一 (吉住)
 手嶋 一郎 (11区)
 齋藤 栄子 (太田区)
- 12月22日 担任委員会
- 12月25日 定例総会・町長との農政懇談会
- 1月 1日 農業委員会だより発行
- 1月 5日 農家相談
担当委員：浅野 邦夫 (吉住区)
 白幡 利政 (大谷地区)
 大友 清一 (長根区)
- 1月26日 担任委員会
- 1月28日 定例総会
- 2月 5日 農家相談
担当委員：高成 貫治 (2の1区)
 日野 善勝 (下町区)
 門田 善則 (小里区)
- 2月23日 担任委員会
- 2月25日 定例総会
第8回わくや発食
の町民まつり参加
- 3月 7日 農家相談
担当委員：佐藤謙次郎 (大谷地区)
 上野 晴道 (1区)
 及川ふじ子 (大谷地区)
- 3月23日 担任委員会
- 3月25日 定例総会

定例総会

農地を買ったり、借りたり、宅地にしたり(転用)するときは農業委員会の許可が必要になります。農業委員は効率的で地域と調和のとれた農地の利用であるかを定例総会で審議いたします。なお、定例総会にかけける申請は毎月10日締めです。

定例総会はどなたでも傍聴することができますので、開催時間を電話、広報わくやまたは町ホームページでご確認のうえおいでください。



▶7月定例総会

農地利用状況調査(農地パトロール)

遊休農地や違反転用の実態について調査します。

食料供給の基盤である優良農地の確保のため、農地の転用は許可制となっています。許可なく転用した場合や事業計画どおりに転用していない場合は、工事の中止や原状回復等の命令がなされる場合があります。これに従わない場合は、罰則の適用もありますのでご注意ください。

罰則：3年以下の懲役または300万円以下
(法人の場合は1億円以下)の罰金



▲遊休農地の現地確認

認定農業者・新規就農者

ガンバってます!



2の3区 岡本直子さん

Q 農業を始められたきっかけを教えてください。

A 子育てがしやすい環境にも惹かれて農業を始めたいと思ったとき、夫の知人である3区の松田茂男さんが使っていないハウスを貸してください、昨年1年間小ねぎの栽培について教えていただきました。

Q 現在の経営内容を教えてください。

A 現在、4月から60坪のハウス3棟で小ねぎを栽培・出荷しています。他に同じく60坪のハウス4棟を建て込み、2棟を修繕しているところです。

Q 農業の厳しさはどんなところですか。

A 厳しさとは違いますが、ゼロから始めるというのには不安もありました。石巻市で実家が米農家をしていますが、野菜づくりの

ノウハウは他で学ぶしかありませんでした。お借りする農地を探すのも大変でした。

Q 農業で困ったことが起きたときはどのように解決していますか。

A 技術の面から土地の面まで松田さんにはたくさん助けていただきました。今でも分からないことがあると、指導していただいています。

また、ハウスの修繕など力が必要なときや収穫が忙しいときは夫が手伝ってくれます。始めはすべて自分でやろうと考えていたのですが、実際はそうもいきませんでした。夫は造園業に就いているので、肥料などの相談にものってくれて助かっています。

Q 農業でやりがいを感じるのにはどんなときですか。

A まだやりがいを感じるよりも、良品をつくりたいという気持ちが強いの

です。今、夏休みに入った子どもがハウスで作業していると一緒になってくれて、小ねぎの調整などを自分から手伝ってくれたりすると嬉しいですね。

Q 将来の目標を聞かせてください。

A 当面の目標は早く環境を整えて、生産をリズムにのせることです。20歳くらいのときは「農業なんて絶対いや」と思っていました

てをしたりするなかで、ものづくりに魅力を感じるようになった。女性で農業というと驚かれることもありませんが、自分でやってみると「できなくない」と感じます。ですが、農業は「やりたい」だけではできず、周りの方々からの協力があつてこそ始められました。それらに因應するためにもがんばっていきたいと思います。

農業を始めたいとお考えの方へ

青年就農給付金をご存知ですか?

準備型

農業大学校や先進農家・先進農業法人等で研修を受ける就農者（就農予定時の年齢が原則45歳未満）に、最長2年間、最大年間150万円が給付されます。

経営開始型

学卒就農やIターン・Jターン・Uターンなどの新規就農される方（独立・自営就農時の年齢が原則45歳未満）に、農業を始めてから経営が安定するまでの最長5年間、最大年間150万円が給付されます。

一丸となり地域を守る

猪短保全会会長 佐藤 謙次郎 さん

平成26年8月6日に吉住区・猪岡区・短台区・大谷地区にまたがる多面的機能支払い活動組織「猪短保全会」が発足した。広域で一丸となった経緯や実際の活動について伺った。

発足のきっかけは…

当初は多面的機能支払いの活動組織として猪岡、短



▲農地維持活動としての水路の草刈り

台、大谷地、吉住、新馬追

笠石の6組織が個別に設立されましたが、猪岡短台地域のほぼ全体を網羅する活動範囲となったことから、6組織を連合した広域組織とすることの利点を考慮し、

広域協定を締結し広域組織として発足しました。発足に当たっては、涌谷町土地改良区や町担当課から助

言指導をいただき、諸問題の調整解決に至っています。

地域の現状は…

当猪岡短台地域は、猪岡短台と吉住に跨がる面積約520haの水田地帯です。

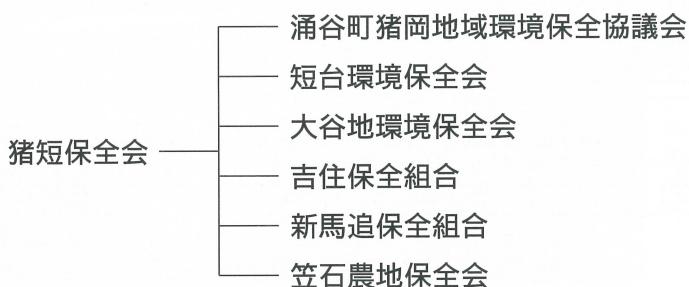
県営事業により圃場整備が行われ、水稲と麦・大豆の転作物が主な作物となっています。当初の区画は30a区画ですが、

農業法人や生産組織等による区画拡大や直播栽培など経営の合理化が行われています。

組織の構成員は…

構成員は、農業者と非農家も含め244名のほかに自治会、子供会、婦人会、消防団など地域の各組織も構成員となっています。

組織図



組織の活動は…

多面的機能支払いの農地維持活動と資源向上活動

●農地維持活動

水路の草刈り・泥上げ、

●資源向上活動

農道の補修
水路等の軽微な補修、環境保全活動（農道等への花植栽、子供会との生きもの調査）現在は猪岡地区のみで実施しています。



▲資源向上活動としての生きもの調査

多面的機能支払制度とは？

農業の多面的機能の維持・発揮のため、地域活動や営農活動に対して支援する制度です。

① 農地維持支払

活動組織

農業者のみの活動組織、または農業者と地域住民などの活動組織

支援対象

- 農地法面の草刈り、水路の泥上げ、農道の砂利補充
- 農村の構造変化に対応した体制の拡充・強化、保全管理構想の作成 等

② 資源向上支払

活動組織

農業者と地域住民などの活動組織

支援対象

- 水路、農道、ため池の軽微な補修
- 植栽による景観形成、ビオトープづくり 等

農業委員会だより 編集後記

今夏、友人夫婦3組で旅行に行きました。目的地は「田んぼアート」を行っている小さな村です。面積1.5haの田んぼは7色11種類の稲を使って見事な作品ができていました。村おこしの一つとして始めたイベントで、今年で23年目を迎え、毎年20万人が訪れているそうです。考えること、アイデア一つで村を再生させた例です。

私たちも、町民一人ひとりが知恵を出し合って町の活性化に取り組んでいきましょう。

さて、今回は農業委員の業務を紹介させていただきました。今後も農業委員活動へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(日野 善勝 編集委員長)

編集委員

委員長 日野 善勝
副委員長 高橋 均
委員 及川 ふじ子
委員 佐々木 みさ子
委員 齋藤 栄子
委員 渋谷 ミホ
委員 浅野 邦夫
委員 白幡 利政
委員 大友 清一

涌谷町農業委員会だより 第10号

平成27年8月15日

編集：涌谷町農業委員会

〒987-0121

涌谷町涌谷字新見龍寺前1番地

J Aみどりの営農センター内

TEL：0229-43-2120

FAX：0229-43-6911

農業者年金

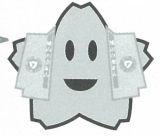
～農家の方にたくさんのメリットがあります～

国民年金第1号
被保険者
国民年金保険料納付免除者を除く。

年間60日以上
農業に従事

60歳未満

の方は誰でも
加入できます!



農業者年金額の試算は
次のとおりです!

認定農業者・青色申告者などの要件を満たす方

加入年齢	納付期間	性別	通常加入の場合		政策支援を受けて加入の場合	
			保険料負担額	農業者年金額(年額)	保険料負担額	農業者年金額(年額)
20歳	40年	男性	960万円	73万円	744万円	75万円
		女性		63万円		63万円
30歳	30年	男性	720万円	50万円	588万円	51万円
		女性		43万円		43万円
40歳	20年	男性	480万円	31万円	※保険料月額20,000円 運用利回り 2.00% 予定利率 1.05% の場合の試算(概算)です。	
		女性		26万円		
50歳	10年	男性	240万円	14万円		
		女性		12万円		

お一人お一人に合わせた、より詳細な試算を作成いたします。
お気軽にお問い合わせください!

農地の貸し借りの新しい仕組み! 農地中間管理事業を活用しましょう

農地を貸したい人(出し手)

機構へ貸付け

市町村、農業委員会
又はJA等へ相談

農地中間管理機構

- ① 農地を借受け
- ② 必要な場合は、簡易な条件整備等を実施
- ③ 担い手への農地集積に配慮し貸付け

機構から借受け

農用地利用配分計画案
(市町村作成)

農地を借りたい人(受け手)

「全国農地ナビ」がスタートしました!

インターネット上で全国の農地情報を提供する「全国農地ナビ(農地情報公開システム)」が平成27年4月1日から稼働いたしました。地番から農地の情報を検索したり、地図や航空写真を確認したりすることができます。

なお、ご利用に当たりまして、同システム利用規約をご確認いただきますようお願いいたします。

「全国農地ナビ」<http://www.alis-ac.jp/>